

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は皆様のご支援をお蔭をもちまして、無事に病院運営を行うことができた。誠に有難うございました。

引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。



2階 地域包括ケア病棟のご紹介

塩尻協立病院2階病棟は、2019年6月に一般病棟から地域包括ケア病棟に転換しました。

病棟方針に『入院したその日から、患者がその人らしく過ごすことができるように多職種と連携し患者に寄り添う看護・介護を実践して行きます』を掲げ日々奮闘しています。

入院される患者さんは、慢性期疾患の治療が必要な人、在宅調整・施設調整が必要な人、終末期を迎える人と様々な背景をもって入院してきます。

私たち、2階病棟で勤務している看護師・介護職の仲間たちは、患者一人一人の状態をSDH（健康の社会的決定要因）の視点で把握し、その人らしさを大事にして行けるよう考えながら看護ケア・介護ケアを提供しています。患者さん、ご家族の方達ともコミュニケーションを大切にに関わり、地域連携室・リハビリそして医師とも連携を密にしてケアを実践しています。

一番うれしいのは、退院されるときにいただく「ありがとう」の言葉と笑顔です。日々の実践の中で困難な場面に出づかることもあります。病棟方針を忘れることなくこれからもがんばって地域包括ケア病棟の役割を果たしていけるように頑張っていこうと思います。

3階 療養病棟のご紹介

塩尻協立病院開設時にできた病棟で、慢性期・長期入院患者が療養生活を送っています。介護を提供できる医療機関、医療を提供できる介護施設として医療と介護の両面を持ち合わせていることが特徴で、医療を含む生活環境の充実に力を注いでいます。病床数は57床 長期入院患者の他に在宅生活をされている方の介護者の負担軽減目的でのレスパイト入院の受け入れも行っています。看護師と介護職が配置されており、二つの職種が連携をとりながら業務に携わっていることが大きな特徴で、患者様を中心に各々の専門性をいかし、様々な視点から患者様を支援・ケアができるよう、また「その人らしく生きる」をモットーに安心でゆったりとした療養生活を送っていただけるよう援助しています。在宅に係る事業所との連携・高齢者の終末期の関りもより深めていきたいと思っています。

当院は地域包括ケア病棟42床、療養病棟57床の運用です。

医療依存度が高く、長期療養が必要な患者様のご紹介をお待ちしております。

